

2015年6月1日

鉄道会社初！東急電鉄がベンチャー企業のビジネス展開を支援する 「アクセラレートプログラム」がスタート

東京急行電鉄株式会社

当社は、法人設立からおおよそ5年以内のベンチャー企業を対象に、東急線沿線でのビジネス展開を支援する「アクセラレートプログラム」(以下、本プログラム)をスタートします。本プログラムは、東急線沿線の生活利便性を高める新規事業を創出することと、渋谷を中心とした東急線沿線において、ベンチャー企業の持続的な成長を支えるエコシステムを構築することを目的に実施するもので、鉄道会社では初の取り組みです。

7月1日(水)から、「交通」、「不動産」、「生活サービス」の3つの事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集し、審査を経て、12月から支援をスタートします。審査を通過した企業は、一定の条件の下、東急線沿線のグループ媒体や施設、顧客基盤、営業網、株式会社東急総合研究所の各種調査データなどを利用したテストマーケティングを行えるほか、当社との業務提携なども検討します。

本プログラムは、約530万人が生活する東急線沿線を中心に展開する事業を対象としますが、東急線沿線以外での事業展開を制約するものではありません。

なお、本プログラムの運営は、当社と株式会社IMJインベストメントパートナーズで行います。

2014年6月に閣議決定した「日本再興戦略」改訂2014において、政府はベンチャーの加速化に対する企業の協力を期待しています。当社は、本年3月27日(金)に発表した「中期3か年経営計画 “STEP TO THE NEXT STAGE”」の重点施策「ワークスタイル&イノベーションの実現」に向けて、既に発表している社内起業家育成制度と連携させながら社内外のベンチャー事業の支援を行うことで、「日本一住みたい沿線 東急沿線」に寄与します。

「アクセラレートプログラム」の詳細は別紙の通りです。

以 上

【別紙】

「アクセラレートプログラム」の詳細

1. 概要

法人設立からおおよそ5年以内のベンチャー企業を対象としたビジネスコンテストを開催し、「交通」、「不動産」、「生活サービス」の3つの事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集します。審査を通過した企業は、東急線沿線に集積する東急グループの広告媒体や施設、顧客基盤、営業網、株式会社東急総合研究所の各種調査データなどを利用したテストマーケティングを行えるほか、当社との業務提携なども検討します。

2. スケジュール

2015年 7月1日	ビジネスプランの応募開始
2015年 9月上旬	書類選考
2015年 9月下旬	一次プレゼンテーション
2015年11月下旬	最終プレゼンテーション
2015年12月	支援プログラム実施
2016年 4月	業務提携の検討

3. 副賞(賞金)

東急賞	1,090,000円
渋谷賞	428,000円

4. URL

<http://www.tokyu-ap.com>

5. その他

2015年6月18日(木)17時00分から、渋谷ヒカリエ8階「COURT」にて事業説明会およびネットワーキングパーティを開催します。

(参考)

■ 共同事業者

IMJ Investment Partners Pte. Ltd.

代表者:代表取締役社長 堀口 雄二

所在地:本社 / 112 Robinson Road #07-03/04 Singapore 068902

設立:2012年1月

事業内容:シンガポールに拠点を置き、東南アジア・日本を中心にベンチャーへの投資を行うベンチャーキャピタル。

URL: <http://www.imj-ip.com/jp/>

■東急電鉄の社内起業家育成制度の概要

【対象者】

当社、一部連結子会社社員による個人もしくはチーム(外部の協力者を含むことも可)
年齢や職責は不問

【提案領域】

業種、テーマなどは特に制限なし(当社の経営理念と経営方針を逸脱しない分野)

【骨子】

- ・提案者が新しいビジネスのアイデアを会社に対して提案し、会社が選考
- ・選考通過後は、提案者は現業務を離れ専任で詳細を検討。会社は事業化検討を強力にサポート
- ・事業化の暁には、提案者自らが推進者や社長となって起業し、軌道に乗るまで事業を推進
- ・新会社設立の際は提案者も一定割合を共同出資することが可能
- ・事業の成果があがった場合には、成果に応じたインセンティブ(報酬)を付与
- ・事業化に失敗した場合でも当社での継続雇用が保証され、提案者に不利益なし

以 上